

MA2010-11

船 舶 事 故 調 査 報 告 書

平成22年11月26日

運 輸 安 全 委 員 会

(東京事案)

- 1 コンテナ船 SONG CHENG 乗揚
- 2 漁船第八浦郷丸火災

(地方事務所事案)

函館事務所

- 3 漁船日正丸転覆

仙台事務所

- 4 モーターボート三王丸転覆
- 5 モーターボートムスタング乗組員行方不明

横浜事務所

- 6 モーターボート Ever Free II 同乗者負傷
- 7 漁船隆光丸漁船ヤマサ丸衝突
- 8 漁船かね忠丸衝突 (定置網)
- 9 押船第六十八さだ丸クレーン台船かいせい乗組員死亡
- 10 漁船三野丸乗揚
- 11 ヨットミコノス5世乗揚
- 12 漁船島丸乗組員死亡

神戸事務所

- 13 押船第十一豊栄丸バージ東進衝突 (灯浮標)
- 14 漁船第六十一若宮丸乗組員死亡

広島事務所

- 15 貨物船富士福丸乗組員負傷
- 16 モーターボートまつかぜ乗組員死亡

門司事務所

- 17 押船第八十八金栄丸バージ第88金栄丸釣船昭和丸衝突
- 18 貨物船ひろしま貨物船第十文章丸衝突
- 19 貨物船 HIBISCUS ISLE 漁船第2八千代丸漁船第1八千代丸衝突 (漁具)
- 20 貨物船 VIGOR SW 貨物船 APOLLO PROGRESS 衝突
- 21 釣船第3内堀丸釣船みさき丸衝突
- 22 モーターボート Wave Ceptor 乗揚

長崎事務所

- 23 漁船祐春丸乗組員行方不明
- 24 貨物船 FU YUAN 乗揚
- 25 漁船美千丸漁船義靖丸衝突
- 26 旅客船鵜渡越丸乗揚

27 ヨットWild Boar乗揚

28 漁船第8宝清丸乗組員負傷

29 モーターボートオーシャンズ8とぎつ衝突 (防波堤)

30 漁船第十八富士丸浸水

31 貨物船第六十一幸栄丸衝突 (防波堤)

32 モーターボート浩風丸衝突 (定置網)

那覇事務所

33 漁船海生丸火災

本報告書の調査は、本件船舶事故に関し、運輸安全委員会設置法に基づき、運輸安全委員会により、船舶事故及び事故に伴い発生した被害の原因を究明し、事故の防止及び被害の軽減に寄与することを目的として行われたものであり、事故の責任を問うために行われたものではない。

運輸安全委員会
委員長 後藤 昇 弘

《参 考》

本報告書本文中に用いる分析の結果を表す用語の取扱いについて

本報告書の本文中「3 分 析」に用いる分析の結果を表す用語は、次のとおりとする。

- ① 断定できる場合
・・・「認められる」
- ② 断定できないが、ほぼ間違いない場合
・・・「推定される」
- ③ 可能性が高い場合
・・・「考えられる」
- ④ 可能性がある場合
・・・「可能性が考えられる」
・・・「可能性があると考えられる」

29 モーターボートオーシャンズ8 とぎつ衝突 (防波堤)

船舶事故調査報告書

平成22年10月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲 也

委員 根本 美 奈

事故種類	衝突（防波堤）	
発生日時	平成21年5月24日（日） 03時40分ごろ	
発生場所	長崎県長崎市三重式見港沖防波堤 ^{みえしきみ} 三重式見港三重南防波堤西灯台から真方位241° 1,440m付近 （概位 北緯32° 48.4′ 東経129° 44.6′）	
事故調査の経過	平成21年5月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等</p> <p>モーターボート オーシャンズ8とぎつ、10.0トン 290-40201長崎、個人所有 12.22m (Lr)、FRP ディーゼル機関、314.06kW、進水年月日 不明</p>	
乗組員等に関する情報	<p>船長 男性 47歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成元年12月21日 免許証交付日 平成16年3月25日 （平成21年12月20日まで有効）</p>	
死傷者等	<p>軽傷 2人（船長及び同乗者B） 船長が頬骨骨折を、同乗者Bが両肩、頭部の打撲傷を負った。</p>	
損傷	船首部破損、脱落	
事故の経過	<p>本船は、平成21年5月24日、船長1人が乗り組み、友人5人を同乗させ、釣りの目的で、三重式見港内を釣り場へ向け航行中、03時40分ごろ、三重式見港沖防波堤先端に衝突した。</p> <p>本船は、航行中の漁船により三重式見港にえい航され、負傷者は、入港後、救急車で搬送された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西北西、風速 約2.1m/s、月齢 29 海象：潮汐 上げ潮初期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明 不明 不明</p> <p>本船は、三重式見港内を航行中、三重式見港沖防波堤に衝突したものと考えられるが、船長及び同乗者から情報が十分に得られなかったことから、衝突に至る状況を明らかにすることができなかった。</p>

原因	本事故は、夜間、本船が三重式見港内を航行中、三重式見港沖防波堤に衝突したことにより発生したものと考えられる。
----	--